

の判者をさだめられて、こと葉をかくべきよしさたあり、これもいみじきすゑの代のもてあそびものならんかし、けふ三ヶ日御とうりう、さまざまのことをつくさせ給、さてもやこよひあるじの殿天盃を給はる、御かはらけ給てみぎりにおりて舞踏す、直衣のすがたいとめづらし、家禮の人々三十人ばかり、地にくだりぬるいとび、しくぞ見えし、家の賞に二位三位などする女房もあまたあるべし、夜に入て上のまむでんよりかへらせ給、御馬十疋うつしおきてたてまつる、その外御おくり物ぐだくしければ中々にしるさず、